

## 新幹線の編成表(2006年12月1日現在)

©作成・半沢一宣

！営利目的での無断転載を禁じます。学術研究など非営利目的で使用される場合でも、事前に作成者までご連絡ください。

\* 季節や時間帯によって、指定席の一部が自由席に（またはその逆に）変更になる列車があります。

\* 乗り込み調査データ欄の車両番号などは、原則として車いす対応座席付き車両のものを記しました。

参考資料 『鉄道ジャーナル』月刊、鉄道ジャーナル社  
『JR電車編成表'05冬号』ジェー・アール・アール

## 記号の説明

号車番号欄 細字 = 禁煙車、**ゴシック体** = 喫煙車、**斜字** = 受動喫煙車（下記注を参照）

\* 印 = 増結車（連結しない列車があります）

車内設備欄 指 = 指定席、自 = 自由席、グ = グリーン車、展 = 展望席、定 = 定員制

個 = 個室（セミコンパートメント等を含む）、S = 喫煙コーナー

H = 車いす対応座席、h = 車いすスペース、M = 多目的室

B = 車いす対応トイレ（ベビーベッド（おむつ交換台）有）

W = 車いす対応トイレ（ベビーベッド無）

b = 車いす非対応トイレ（ベビーベッド有）

w = 車いす非対応トイレ（ベビーベッド無）

P = テレホンカード式公衆電話（車いす対応）

p = テレホンカード式公衆電話（車いす非対応）

V = 飲料自動販売機（車いす対応）、v = 飲料自動販売機（車いす非対応）

K = 売店、k = 車内販売準備室、C = 車掌室

## 注：「受動喫煙車」

喫煙車に隣接した禁煙車のこと。隣接する喫煙車から流入するたばこ煙によって、両側を禁煙車に挟まれた禁煙車両と比べて著しく高い、環境基準をオーバーする高濃度の粉じんが営業列車での測定調査において検出されていることから、受動喫煙を防止できていない車両であると考えられます。この調査を2004年秋に実施した、産業医科大学（福岡県北九州市）産業生態科学研究所の大和浩教授が、仮に命名したものです。

なお本表では、デッキなどに喫煙コーナー（名称は会社により異なります）が設置されている禁煙車の客室内においても、程度の差はあれ同様の問題が発生している可能性が考えられることから、これに該当する車両も受動喫煙車と同様に**斜字**で示しました。

【東海道・山陽新幹線】

のぞみ、一部のひかり・こだま ( 700系、JR東海C編成・JR西日本B編成 )

\* 号車の12番AB席が車いす対応座席 ( 太平洋・瀬戸内海側。窓側向きに回転、肘掛けが跳ね上がる構造 ) で、デッキ寄りの13番AB席が同伴者用として確保されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、富士山・玄界灘側です。

\* 号車の電話室は、車内専用の車いす ( バギー ) に限り、ドアを開けた状態で利用可能です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月9日 ( 金曜日 ) 新大阪6時03分発「のぞみ200号」

車両番号・号車 = 726 - 749 ( C50編成、2004年・日立製 )

博多

東京

自b	p自	v <b>自b</b>	<b>指</b>	<b>指b</b>	p指	指vkb	C <b>グ</b>

<b>グb</b>	<b>グC</b>	<b>kv指HMM</b>	P指	指b	<b>指</b>	<b>v指b</b>	<b>p指</b>

【東海道・山陽新幹線】のぞみ ( 500系、JR西日本W編成 )

\* 号車の12番AB席が車いす対応座席 ( 太平洋・瀬戸内海側。窓側向きに回転、肘掛けが跳ね上がる構造 ) で、デッキ寄りの13番AB席が同伴者用として確保されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、富士山・玄界灘側です。

\* 号車の電話室は、車内専用の車いす ( バギー ) に限り、ドアを開けた状態で利用可能です。

乗り込み調査実施記録

2007年3月16日 ( 金曜日 ) 東京7時50分発「のぞみ9号」

車両番号・号車 = 527 - 701 ( W1編成、1996年・日本車両製 )

博多

東京

自b	p自	<b>自b</b>	<b>指</b>	<b>指b</b>	p指	指kb	C <b>グ</b>

<b>グb</b>	<b>グC</b>	<b>k指HMB</b>	P指	指b	<b>指</b>	<b>指b</b>	<b>p指</b>

【東海道・山陽新幹線】

ひかり・こだま、一部ののぞみ(300系、JR東海J編成・JR西日本F編成)

\* 号車の12番AB席が車いす対応座席(太平洋・瀬戸内海側。窓側向きに回転、肘掛けが跳ね上がる構造)で、デッキ寄りの13番AB席が同伴者用として確保されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、富士山・玄界灘側です。

\* 電話がすべて車いす対応構造なのは、電話機の下を消火器置場としているレイアウトのため、バリアフリー化とはあまり関係がないと思われます。

乗り込み調査実施記録

2007年2月9日(金曜日)新大阪6時49分発「のぞみ202号」

車両番号・号車=325-744(J45編成、1997年・日本車両製)

博多

東京

自b	P自	k自b	指	指b	P指	指kb	Cグ

グb	グC	k指HMM	P指	指b	指	k指b	P指

【山陽新幹線】ひかりレールスター(700系、E編成)

\* 号車の12A席が車いす対応座席(瀬戸内海側。窓側向きに回転、肘掛けが跳ね上がる構造)で、デッキ寄りの13A席が同伴者用として確保されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、玄界灘側です。

\* 号車の電話室は、車内専用の車いす(バギー)に限り、ドアを開けた状態で利用可能です。

\* 号車のセミコンパートメントは、4人用×4室です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月9日(金曜日)新大阪6時25分発「ひかり443号」

車両番号・号車=725-7711(E11編成、2000年・日本車両製)

博多

新大阪

自b	自	vk自b	p指	指b	指C	vk指HMB	P指コ

【山陽新幹線】こだま(0系、R編成)

\* 号車の12A・13A席が車いす対応座席(太平洋・瀬戸内海側。窓側向きに回転、肘掛けが跳ね上がる構造)ですが、自由席のため利用できない場合があります。  
多目的室は、玄界灘側です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月9日(金曜日)新大阪6時25分発「こだま631号」

車両番号・号車=29-7903(R68編成、1985年・東急車両製。2&2シート化などのリニューアル改造の実施年・施工箇所名は失念)

博多			新大阪		
自w	自	K自HpMW	C指	自w	自

【山陽新幹線】こだま(100系、KおよびP編成)

\* 6両編成・4両編成とも、号車の14A・15A席が車いす対応座席(瀬戸内海側。窓側向きに回転、肘掛けが跳ね上がる構造)ですが、自由席のため利用できない場合があります。

多目的室は、いずれも玄界灘側です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月9日(金曜日)新大阪7時01分発「こだま633号」

車両番号・号車=125-3757(K60編成、2003年に2&2シート化などのリニューアル改造を博多総合車両所で施工)

博多			新大阪		
(K編成)					
自w	自	k自HMW	pC指	自w	自

博多		岡山	
(P編成)			
自w	自	自HMW	p指

【九州新幹線】つばめ(800系、U編成)

\* 号車の11A席と号車の16A席(いずれも山側)が車いす対応座席ですが、号車は自由席のため利用できない場合があります。

鹿児島中央			新八代		
指HW	p指	指w	v自	自HW	p自

【東北新幹線】はやて、やまびこ、なすの ( E 2 系、 J 編成 )

- \* 普通車では 号車の 1 B 席が車いす対応座席 ( 太平洋側の通路側。窓側向きに回転、肘掛けが跳ね上がる構造 ) で、隣の 1 A 席 ( 窓側 ) が同伴者用として確保されています。グリーン車 ( 号車 ) では 1 3 D 席 ( 奥羽山脈側 ) が車いす対応座席です ( 同上 )。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。
- \* 号車の多目的室は、奥羽山脈側です。

乗り込み調査実施記録

2007年3月16日 ( 金曜日 ) 東京 6 時 0 4 分発 「やまびこ 4 1 号」

車両番号・ 号車 = E 2 1 5 - 6、 号車 = E 2 2 4 - 1 0 6

( J 6 編成、いずれも 1 9 9 7 年・日本車両製 )

東京 ( はやて ) 盛岡・八戸  
 東京 ( やまびこ ) 仙台・盛岡  
 東京 ( なすの ) 那須塩原・郡山

指w	指	v指w	p指	k指w	指	v指w	p指	CグHMB	H指	

【上越新幹線】MAXとき、MAXたにがわ ( E 1 系、 M 編成 )

- \* 全車 2 階建て車両です ( 車端部を除く )
- \* ~ 号車の 2 階は左右各 3 列の 6 列席で、背もたれはリクライニングしません。また、 ~ 号車のデッキにはジャンプシートがあります ( 補助席、下表では j で表示 )。
- \* 普通車では 号車の 2 3 E 席、グリーン車では 号車の 2 7 D 席が車いす対応座席 ( いずれも 2 階席の榛名山側で、通路側向きに回転 ) で、車いす用のリフトが設置されています。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。
- \* 号車の多目的室も、榛名山側です。
- \* 号車のパウダールーム ( 女性用更衣室、トイレの隣 ) におむつ交換台があります。
- \* 平屋部分で空欄の場所は機器室です。
- \* 号車の 号車側などの平屋室では、2 階建て部分の客室とデッキとの間に仕切りドアがある関係で、受動喫煙が発生していないものと考えられます。

乗り込み調査実施記録

2007年3月9日 ( 金曜日 ) 東京 1 3 時 5 2 分発 「MAXたにがわ 4 1 5 号」

車両番号・ 号車 = E 1 5 8 - 2 0 1、 号車 = E 1 4 8 - 1

( M 1 編成、いずれも 1 9 9 4 年・川崎重工製、2004年に新潟新幹線車両センターでリニューアル改造を実施 )

東京 ( MAXとき ) 新潟  
 東京 ( MAXたにがわ ) 高崎・越後湯沢・ガーラ湯沢

自	w	v	自	j	自	j	w	自	pj	指	指	w	v	指	
自			自		自			自	自	指	指			指	

	指		B	H指	K	C	グH	W	Mv	グ			グ		指
	指			指			指		P	指			指		指



【東北・上越新幹線】やまびこ、なすの、とき、たにがわ(200系、K編成)

\* 号車の11番AB席が車いす対応座席で、デッキ寄りの12番AB席が同伴者用として確保されています(東北新幹線では太平洋側、上越新幹線では赤城山側。窓側向きに回転、肘掛けが跳ね上がる構造)。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

多目的室は、東北新幹線では奥羽山脈側、上越新幹線では榛名山側です。

乗り込み調査実施記録

2007年3月16日(金曜日)東京7時08分発「とき305号」(K49編成)

車両番号・号車=225-502(K49編成、1985年・東急車両製、2002年に仙台総合車両所でリニューアル改造を実施)

東京	(やまびこ)	仙台
東京	(なすの)	那須塩原・郡山
東京	(とき)	新潟
東京	(たにがわ)	高崎・越後湯沢

自w	自	v自w	p自	自w	指	vk指HMPw	指	Cグw	指
----	---	-----	----	----	---	---------	---	-----	---

【長野新幹線】あさま(E2系、N編成)

\* 普通車では号車の1B席が車いす対応座席(浅間山側の通路側。窓側向きに回転、肘掛けが跳ね上がる構造)で、隣の1A席(窓側)が同伴者用として確保されています。グリーン車(号車)では13D席(千曲川側)が車いす対応座席です(同上)。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

\* 号車の多目的室は、千曲川側です。

\* 長野新幹線は、2005年12月1日から全車禁煙車です。

乗り込み調査実施記録

2007年3月16日(金曜日)東京6時52分発「あさま503号」

車両番号・号車=E215-9、号車=E224-9  
(N3編成、いずれも1997年・日立製)

東京				軽井沢・長野			
自w	自	v自w	p自	k自w	指	CグHMB	pH指

【東北～山形新幹線】つばさ(400系およびE3系、L編成)

\*東北新幹線内でE4系と併結して「MAXなすの」としても運転されます。

\*普通車は号車の1D席(山形新幹線内で月山側)、グリーン車は号車の7A席(400系)または6A席(E3系、いずれも山形新幹線内で蔵王山側)が車いす対応座席です。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

400系の車いす対応座席は、普通席・グリーン席のいずれも座席が窓側向きにしか回転しないうえ肘掛けが跳ね上がらない構造になっているため、車いすからの乗り移りには困難が生じています。E3系の車いす対応座席は、いずれも通路側向きに回転します。

\*号車の多目的室(山形新幹線内で蔵王山側)はE3系にのみ設置されていますが、400系とE3系は共通運用とされているため、どの列車にどちらの車両が使用されるかは決まっています。。

乗り込み調査実施記録

2007年3月16日(金曜日)東京6時28分発「つばさ101号」

車両番号・号車=411-8、号車=426-208

(400系L8編成、いずれも1992年製、メーカー名は失念)

東京

山形・新庄

(400系)

グHCKB	pH指	v指pw	指	指w	自pw	自

(E3系)

グHCMKB	pH指	v指pw	指	指w	自pw	自

【東北～秋田新幹線】こまち(E3系、R編成)

\*東北新幹線内でE2系と併結して「やまびこ」「なすの」としても運転されます。

\*大曲～秋田間は逆向き(大曲方が号車、秋田方が号車)。

\*普通車は号車の1D席(東北新幹線内で奥羽山脈側)、グリーン車は号車の6A席(同じく太平洋側)が車いす対応座席です(いずれも通路側向きに回転)。これらの席は、車いす利用者からの予約がない場合には、当日朝から一般向けにも発売されます。

\*号車の多目的室は東北新幹線内で太平洋側にありますが、車内販売の商品倉庫としても使用されるため、急病人の休憩などに利用できない場合があります(下記調査列車で車内販売乗務員が実際に商品倉庫として使用していました)。

乗り込み調査実施記録

2007年2月24日(土曜日)秋田12時01分発「こまち16号」

車両番号・号車=E311-1、号車=E326-1

(R1編成、いずれも1995年製、メーカー名は失念)

東京

秋田

グHCMKB	H指	v指pw	指	指pw		指

以上